

一級自動車工学科・自動車整備科			2026年度 授業計画			
時期	1年D巡	単元	学科	教科名	シャシ整備D	
科目	自動車整備関連	教科書等 持参品	二級自動車整備士（総合）		発行日	2025.4.1
総時限	12時限				教科 担当	内川 智輝
総時間	19.2時間					
単位数	1					
1. 実務経験のある教員による授業科目 該当						
自動車整備士として、シャシ整備の実務経験がある教員によりシャシの構造、作動について指導する。						
2. 教科の目的（この学科の狙い、目的を明確に記入）						
①シャシの総論について理解する。 ②動力伝達装置について理解する。						
3. 授業の到達目標（何を理解し何が出来るようになるのか）						
①自動車の性能や走行抵抗、走行性能曲線図について理解出来る。 ②クラッチの構造、性能について理解出来る。 ③オートマチックトランスミッションの構造、作動、性能について理解出来る。 ④プランetary・ギヤ・ユニットの変速比計算を理解出来る。 ⑤CVTの構造、作動、性能について理解出来る。						
4. 学習評価（期末試験での主な試験項目）						
<ul style="list-style-type: none"> ・学科履修試験で評価する。学科履修試験は80分間で実施する。 ○×、選択肢、記述により100点満点で評価する ・合格点：60点以上 80点以上：優 60点以上：良（一級工学科70点以上） 60点未満：不可（一級工学科70点未満） ・不合格の場合、再試験を受験し、60点以上で合格とみなす。（一級工学科70点以上） 再試験合格の場合、得点に関わらず評価は「可」とする。 ・再試験不合格の場合、学校長の権限により教科判定試験を実施し、合格とみなす場合がある。 						
5. 準備学習						
シャシ構造Aの動力伝達装置の復習をしておく。						
6. 学修時間と単位						
<p>本科目は、1単位あたり45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準としている。</p> <p>1単位の修得に必要な学修時間の目安は、15～30時間の授業および授業時間外学修（予習・復習など）30～15時間である。</p>						

時期	1年D巡	単元	学科	教科名	シャシ整備D	
7. 業概要 (時限ごとの主な授業内容)					8. 教科書、資料、備品類	
時限	主な授業内容				資料、備品類	数量
1	総論	自動車の発達、性能、走行抵抗、駆動力			二級自動車整備士 (総合)	各自
2	総論 動力伝達装置	駆動力、駆動力曲線、走行抵抗曲線、クラッチの構造・機能				
3	動力伝達装置	クラッチの構造・機能、自動遠心クラッチ (二輪)、AT概要				
4	動力伝達装置	トルクコンバータの構造・機能、トルクコンバータ曲線図				
5	プラネタリ・ギヤ	トルクコンバータ計算問題、変速機構(プラネタリ・ギヤ・ユニット概要)				
6	動力伝達装置	プラネタリ・ギヤ・ユニット計算問題、変速機構(クラッチ、バンド・ブレーキ、ワンウェイ・クラッチ)				
7	動力伝達装置	電制制御装置 (AT)				
8	動力伝達装置	変速点、自動変速線図問題、レンジの作動1.2.3.4.R.N.Plレンジ				
9	動力伝達装置	ロックアップ機構、安全装置				
10	動力伝達装置	CVT構造・機能				
11	動力伝達装置	CVT構造・機能、AT、CVT整備・故障診断				
12	演習	演習問題				